

ドヴォルザーク 新世界より

A.Dvořák: Symphony No.9 e-moll Op.95 From the New world

チャイコフスキー ピアノ協奏曲第1番

P.I.Tchaikovsky: Piano Concerto No.1 b-moll Op.23



M.コシック [指揮]



岡田 将 [ピアノ]



北九州グランフィルハーモニー管弦楽団

2024 **2.10** [土] **不二輸送機ホール** (山陽小野田市文化会館)

山口県山陽小野田市大字郡1754番地 / JR厚狭駅新幹線口より 徒歩3分

開演 **15:00** (開場 **14:20**) **全席自由** ※未就学児は入場できません

●チケット料金：一般4,000円、山陽小野田市文化協会個人会員2,000円、学生500円 ※学生以外は当日券500円UP

●チケット販売：宇部市文化創造財団、フジグラン宇部、不二輸送機ホール、山陽小野田市民館、松田楽器店(小倉)

理科大から会場まで無料シャトルバスが出ます。

お問い合わせ / 0836-39-5665 [文化協会]
080-4005-3372 [岸田]

主催：山陽小野田市文化協会

後援：山陽小野田市、山陽小野田市教育委員会、山口東京理科大学、宇部市、宇部市文化創造財団、読売新聞社、毎日新聞社、朝日新聞社、(株)宇部日報社、tysテレビ山口、KRY山口放送、yab山口朝日放送、FMスマイルウエーブ

心を動かす 音楽を 未来を担う 若い世代に

山陽小野田市文化協会は、会員等の連携を通じて市民の文化芸術活動の活性化を図り、山陽小野田市の文化の振興と活力ある地域づくりに寄与することを目的としています。

これまで当地域は文化活動が低迷しており、市民の関心度も低い状況にありました。その原因のひとつとして、一流のアーティストの公演や作品展などに触れる機会が少なかったことがあります。小規模の自治体では資金力の問題もあって現状を打開しにくい状況もありました。

そこで、今年度から山陽小野田市が取り組んでいる「協創によるまちづくり事業」のガバメントクラウドファンディング資金を活用して、北九州グランフィルハーモニー管弦楽団の演奏会を実施することになりました。この演奏会の特徴は、市立山口東京理科大学の学生たちと協働で事業を創り上げていく事です。地域の皆さんはもとより、未来の宝である若者に一流の音楽に触れてもらいたいという思いで企画しました。

学生であれば市内外を問わずワンコイン(¥500)で一流のプロの音楽に触れることのできる機会を創り、半径60キロ、最も近くにあるプロのオーケストラ、北九州グランフィルハーモニー管弦楽団の演奏をお届けいたします。

ご来場を心からお待ちしております。

山陽小野田市文化協会
会長 西村 公一

マリオ・コシク | 指揮

Mário KOŠÍK



スロバキア国立放送交響楽団の指揮者として、国内外で高く評価される。多数の応募者の中から選出され、2000年カルロヴィ・ヴァリ・シンフォニー・オーケストラの首席指揮者に任命される。これを機に、プラハ室内管弦楽団、プラハ交響楽団、プルノ国立管弦楽団、オナスラヴァのヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団など、ヨーロッパでも有数のアンサンブル、管弦楽団や歌劇場に客演として招待される。モラヴィア・フィルハーモニー管弦楽団との共演で2006年に初来日し成功をおさめ、その後、日本には何度も招聘されツアーを行う。定期的にスロヴァキア国内の指揮台に立ち確固たる地位を確立するほか、ドイツ、オーストリア、イタリア、スペイン、ポーランド、ブルガリア、ロシア、そして日本など、様々な国の異なるオーケストラやアーティストとともに数々のコンサートを行い、国際的にも名声の高い指揮者として活躍を続けている。

岡田 将 | ピアノ

Masaru OKADA



福岡県出身。全日本学生音楽コンクール全国大会・中学校の部優勝。第61回日本音楽コンクール優勝。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を首席卒業し、ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院、ベルリン国立芸術大学で研鑽を積む。97年アルトゥール・シュナーベルコンクール優勝。99年第5回リスト国際ピアノコンクールで日本人として初めて優勝、ドイツ国内を中心にヨーロッパ主要都市やNYでリサイタルを開催、ゾルタン・コチシュ指揮ハンガリー国立管弦楽団と共演。圧倒的なスケール感と緻密な構成力が高い評価を得た。第12回出光賞受賞。第29回日本ショパン協会賞受賞。07年にベルリンより帰国し、現在、神戸女学院大学准教授。オール・リスト3回シリーズ、バッハ：パルティータ全6曲演奏会、ベートーヴェン：ピアノソナタ全32曲シリーズ(全8回)、リスト：超絶技巧練習曲全曲コンサートなど意欲的な活動が大きな話題となっている。18年には巨匠ルイス・クラレットvcとの共演でCD『ベートーヴェン：チェロ・ソナタ全集』(オクタヴィア/レコード芸術準特選盤)をリリース。

http://www.concert.co.jp/artist/masaru_okada/

北九州グランフィルハーモニー管弦楽団

Kitakyushu Grand Philharmony Orchestra



2018年設立のプロ演奏家による北九州市初の常設オーケストラ。レパートリーの拡充と技術・アンサンブルの向上に努め、その名に相応しい、充実した活動を目指す。地域に根差した演奏団体としても様々な企画に取り組み、今では「グランフィル」の名で広く親しまれている。コロナ禍にあって、サン＝サーンス/交響曲第3番「オルガン付」、リムスキー＝コルサコフ「シヘラザード」、ラヴェル/ボレロなどの交響曲・管弦楽曲のほか、ドヴォルザーク/チェロ協奏曲(vc宮田大)、ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第2番(pf岡田将)、世界的サクソフォン奏者・須川展也氏、古澤巖氏(vn)、南紫音(vn)との共演など、オーケストラのエネルギーを結集させた演奏は多くの聴衆の賞賛を得た。フジコ・ヘミング(pf)とは、兵庫・広島・北九州・福岡・佐賀・熊本・鹿児島などで共演を重ね、協奏曲演奏についてヘミング氏から厚い信頼を得ており、2024年も各地での共演が決定している。オペラにおいては「ランメルモールのルチア」「ラ・ボエーム」に続き、2023年9月には「カヴァレリア・ルスティカーナ」の管弦楽を務めた。その他、キッズやファミリー対象のコンサート、映画音楽、声楽・合唱との共演等、内容は多岐にわたり、意欲的に活動している。